

会場を練り歩く神輿が  
まつりを盛り上げる

模擬店のテントが連なる  
おまつり通り



初登場の阿波踊りには飛び入りの参加も



## 成田ふるさとまつり2003 年月を重ね 成田の二大まつりに成長

真夏の日差しが戻った8月23日・24日の両日、「成田ふるさとまつり2003」が開催されました。おまつり通りには自治会などによる模擬店が軒を連ね、呼び込みの声も元気一杯。山車・神輿の巡行や、ストリートダンス、阿波踊りなども行われ、会場は夜遅くまでたくさんの人でにぎわいました。

## 救急キャンペーン 救急救命士の指導のもと 応急手当でも真剣に



いざという時に備え真剣に

9月9日の「救急の日」にちなみ、9月7日、救急キャンペーンがイオン成田ショッピングセンターで開かれました。会場には、多くの家族連れなどが訪れ、心肺蘇生法コーナーでは、救急救命士の指導を受けながら人工呼吸や心臓マッサージなどの応急手当に真剣に取り組んでいました。

3日間の練習に汗を流すセネガルチーム



## 日本との対戦前に足慣らし サッカー・セネガル代表が ミニキャンプ

サッカーのセネガル代表選手20人が、9月3日から5日まで、市陸上競技場などを使いミニキャンプを行いました。市内でサッカーA代表が練習したのは、一昨年のワールドカップ期間中のナイジェリアやドイツ以来のこと。今回のキャンプは、成田の立地条件や環境が評価されたもので、9月10日に新潟で行われた日本代表との対戦では、キャンプの成果を生かし熱戦を繰り広げました。



大自然の中でカヌーも体験

ホストファミリーと



2003成田市少年の翼in沖縄  
美しい自然と文化、歴史を体感

「成田市少年の翼」の小・中学生36人が、8月18日から23日までの日程で沖縄を訪れました。ことは新型コロナウイルスの影響で訪問先を中国・咸陽市から沖縄に変更。美しい海や文化に触れ、平和施設を訪れるなど例年と変わらぬ有意義な研修を積んだ参加者は、地元の子どもたちに教えてもらったエイサーを手土産に、全員元気に成田に降り立ちました。



さよならパーティーでは全員で歌を披露

大袋の朝角刀

チビッ子力士の闘志あふれる熱戦が



力強い相撲をとるチビッ子力士たち

300年以上の伝統をもち、毎年8月24日に大袋の県神社で開かれる朝角刀。早朝、触れ太鼓が響き渡る中人々が集まり、その年の最年少の子どもの一番勝負から始まりました。3人抜きや5人抜きなどの勝ち抜き戦も行われ、チビッ子力士の闘志あふれる相撲に「押せ！頑張れ！」とにぎやかな応援合戦が繰り広げられました。



熱戦をカメラやビデオに収める見物人

成田市統計グラフコンクール

市長賞には藤田京子さん

成田市統計グラフコンクールに市内の小・中学生から121点の作品が寄せられ、この中から特別賞4点、金賞40点が選ばれました。特別賞の受賞者は次のとおりです。

- 市長賞 藤田京子さん(豊住小6年)
- 議長賞 豊福かおりさん(中台中3年)
- 教育長賞 櫻井美果さん(豊住中1年)
- 統計研究会賞 堀川美奈子さん(中台中3年)

応募されたすべての作品は、千葉県統計グラフコンクールに出品されます。



市長賞に輝いた藤田京子さん